

2025 年度「若者×ツナグバ」活動報告書

団体名：結～YUI～

活動名：すべての人に安心と居場所を

★ 団体紹介（結成時期、構成メンバー、結成の目的、活動方針等）

東広島市在住の外国につながる子どもたちとその保護者に向けて季節の体験イベントと日本語教育、保護者への情報提供の三つを軸に活動しています。体験イベントでは夏祭りやジャックオランタンづくりなど、季節、日本や世界の文化を体感できるイベントを実施しています。また現在イベントの冒頭で、絵カードや読み聞かせなどの日本語教育を行っており、楽しく学ぶことによる意欲の向上を目指しています。保護者に向けた支援として主に SNS、ホームページを用いて学校の制度や文化など日本の教育について情報発信を行っています。また、地域のイベントにも積極的に参加し、展示等を行うことで地域の方々との交流を深め、支援の輪を広げています。

2022 年に外国につながる子どもとその保護者に向けた支援に高い関心と課題感を持った広島大学の学生有志が支援団体を立ち上げ、2023 年に広島大学の公認サークルとなりました。「すべての人に安心と居場所を」をスローガンとし、学習や情報提供の場を作ることに加え同じ悩みを抱える者たちや悩みを理解している者との交流の場となることを目指しています。活動を通して、子どもたちや保護者の不安を軽減し、より安心した生活が送れることを目指します。東広島を誰もが生きやすい街にしていくのが私達の夢です。

Volunteer Circle
結～YUI～

We teach Japanese to children and organize seasonal events

We have Japanese classes and events to experience Japanese culture for the children resident in this city.

Monthly Event



We hold events to experience Japanese culture for the children. We had Setsubun party and Summer festival event. Children can make friends there :)

Japanese Classes



We hold Japanese classes. In the class, we use board games to enjoy learning Japanese. Also, we help their homework as needed.

Parents and children are welcome to participate!

Homepage



Instagram



Facebook



★ 活動内容 (実施日、場所、目的、内容、参加人数等)

【5月イベント】

実施日：2025年5月25日 13:00~16:00

場所：東広島芸術文化ホールくらら 調理実習室 206

目的：「子どもの日」に関連する日本語に親しむ。

日本語・日本文化への興味・関心をより深める。

内容：前半では、子どもの日にちなんだ絵本の読み聞かせを実施する日本語教室や、こいのぼりスタンドを作る工作を実施しました。絵本の読み聞かせでは、5月の子どもの日に関連するこいのぼりについての歴史などを学習しました。また、こいのぼりスタンドを作る工作を実施して、個性あふれるこいのぼりをたくさん作ることが出来ました。後半では、子どもの日のお菓子である柏餅をみんなで作りました。なかなか日常生活で一から作って食べることがないので、楽しんで作ることが出来ました。味も大成功し、素敵な子どもの日を体験することができました。

参加人数：子ども5人



【6月イベント】

実施日：2025年6月22日 13:00~16:00

場所：Ripple

目的：外国にルーツのある子どもたちおよびその保護者に対して、日本語支援あるいは情報提供を行うことを団体の活動目的としている。本事業では、絵本を読んだり、工作に取り組んだりすることを通じて梅雨・季節に関連する日本語に親しむこと、日本の梅雨を体験することを目的とする。

内容：前半では、梅雨にちなんだ絵本の読み聞かせを実施する日本語教室や、てるてるぼうずの工作を実施しました。絵本の読み聞かせでは、6月の梅雨の過ごし方や梅雨に関する語彙について学習しました。また、てるてるぼうず工作では、てるてるぼうずを作る意味を確認し日本文化への理解を深めると同時に、個性あふれる作品を作ることが出来ました。後半では、新鮮なフルーツを使ったフルーツ 飴を作りしました。なかなか日常生活で一から作って食べることがないので、楽しんで作ることが出来ました。味も大成功し、梅雨の日を体験することができました。

参加人数：子ども2人



【7月イベント】

実施日:2025年7月27日 13:00~16:00

場所:東広島芸術文化ホールくらら 調理実習室 206

目的:外国にルーツのある子どもたちおよびその保護者に対して、日本語支援あるいは情報提供を行うことを団体の活動目的としている。本事業では、絵本を読んだり、工作に取り組んだりすることを通じて夏祭り・季節に関連する日本語に親しむこと、日本の夏を体験することを目的とする。

内容:前半では、夏祭りにちなんだ絵本の読み聞かせを実施する日本語教室や、アクアビーズの工作を実施しました。絵本の読み聞かせでは、花火の由来や夏祭りに関する語彙を学習しました。また、アクアビーズを使った工作では、様々な色のビーズを使って夏らしい作品を作ることができました。後半では、新鮮なフルーツを使ったクレープを作りました。夏祭りの屋台にあるクレープをみんなで作り、オリジナリティあるものを作ることが出来ました。

参加人数:子ども4人



【10月東広島国際フェスタ参加】

【12月イベント】

実施日:2025年12月20日 13:00~16:00

場所:東広島芸術文化ホールくらら 調理実習室 206

目的:外国にルーツのある子どもたちおよびその保護者に対して、日本語支援あるいは情報提供を行うこ

とを団体の活動目的としている。本事業では、絵本を読んだり、工作に取り組んだりすることを通じてクリスマスに関連する日本語に親しむこと、日本の冬のイベントを体験することを目的とする。

内容:前半では、クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせを実施する日本語教室や、クリスマスリース作る工作を実施しました。絵本の読み聞かせでは、クリスマスに関連するサンタクロースの役目や、日本とその他の国のクリスマスの過ごし方の違いについて学習しました。また、クリスマスリース作る工作を実施して、個性あふれるクリスマスリースをたくさん作ることが出来ました。後半では、クリスマスにちなんでカップケーキをみんなで作りました。初めてひとりでカップケーキを作ったと満足そうに子供たちが話しており、素敵なクリスマスを過ごしました。

参加人数:子ども4人



【1月イベント】

実施日:2026年1月31日 13:00~16:00

場所:東広島芸術文化ホールくらら 調理実習室 206

目的:外国にルーツのある子どもたちおよびその保護者に対して、日本語支援あるいは情報提供を行うことを団体の活動目的としている。本事業では、絵本を読んだり、工作に取り組んだりすることを通じて冬に関連する日本語に親しむこと、日本の冬のイベントを体験することを目的とする。

内容:前半では、お正月に関連した絵本の読み聞かせや年賀状作りをしました。絵本の読み聞かせではお正月の様々な遊びを学びました。年賀状作りでは子どもたちそれぞれの個性があふれるユニークな年賀状ができました。後半では、ゆで小豆とお餅でぜんざいを作りました。小豆を湯煎したり、お餅を焼いたりといった工程を子どもたちが積極的に取り組んでいました。

参加人数:子ども4人



★ 実施に伴う効果（どのような社会貢献ができたか。自らの成長は。）

東広島市で暮らしている外国人市民人口の割合は5%を超え、これは全国的に見ても大きな数値である。様々な国籍、文化、言語などのバックグラウンドを持った子どもたちに学校以外で「楽しい」と思えるような居場所を定期的に提供できたことは大きな社会貢献の一つになった。また、イベントの中で学校や学年の壁を越えた交流が子どもたちの中でできたことも大きな成果である。10 月には、東広島市の国際フェスタに参加し、子どもたちが楽しめるような企画を実施したのはもちろん、ポスターや SNS などの情報を提示することで、イベントに参加してくださった市民の方々にも私たちの活動を知っていただけるきっかけを作ることが出来た。

私たち自身の成長としては、円滑なサークル運営のために SNS 広報担当、渉外担当、HP 担当など、それぞれ役割を設けることで、一人一人が責任あるメンバーの一員として運営することができた。また、私たち自身も「多文化理解」や「子どもへの教育」に関心の高いメンバーが集まっているからこそ、子どもたちとの交流などを通じて、よりよいイベントを作り上げていくためのアイデアや創造性を高めることができた。

★ 苦労した点、今後の課題、発展の方向性など

苦労した点としては、人材確保があげられる。今年度の 4 月時点では団体運営メンバーが一人しかいない状況でスタートした。新入生が企画メンバーとして加わってくれたものの、市への後援申請など事務手続きに加え、イベント当日では臨機応変な対応が求められることが多かったため、慣れないうちは負担が大きかったと思われる。

今後の課題と発展の方向性としては、現代表が海外に一年いるためサークル運営の体制を変える必要があり、加えて新入生も含めた新体制を作りスムーズな運営を進めていくのが課題である。また、現在は子どもへのイベントが中心だが、SNS やホームページを活用した保護者への情報発信も進めていきたいと考えている。また、主な参加者を外国にルーツのある子どもたちを中心に行っているが、日本語母語話者の子どもたちも含めたイベントも企画していきたい。

★ 若者×ツナグバへの提言（改善につながるヒント、要望）

ワカツナフェスタやワカツナサミットなど、他の団体と一緒に face-to-face でイベントを作り上げ、交流の場ができたのは、私たちにとっても大きなメリットだった。ぜひ、このような活動ができる場をこれからも設けてほしいです。

要望としては、他団体の活動にも参加出来れば交流の機会もより広がると思うため、団体の活動日を一覧にして確認できるようなプラットフォームを設けていただきたいです。